



「もっとやりたい」「もっと知りたい」を育む

園長 立石 晃子

10月16日(土)に行われた運動会は、みんなの気持ちが天に届き、雨に降られることなく無事に終わることができました。保護者の皆様には運動会までにお子様の気持ちを励まし支えていただき、また、予行・当日とお手伝いいただきながら取組むことができました。ご協力ありがとうございました。特に年長児はたくさんの方から「感動した」と声を掛けてもらっていましたので、「感動するって分かる?」と聞くと、「分かる。嬉しい、とか、よかった、とかいろいろ思うこと。」と嬉しそうに言っていました。

さて、11月24日には昨年度から荒川区教育委員会教育指定園の研究発表を行います。教職員は、研究主題「『もっとやりたい』『もっと知りたい』を育む教師の援助-主体的・対話的で深い学びを小学校教育へ-」を掲げ、研究を続けてまいりました。幼稚園教育要領・小学校学習指導要領において、「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業改善の推進、幼児期の学びを小学校へ接続していくことが求められています。そこで本園では、「主体的・対話的で深い学び」のときの幼児の思いを「もっとやりたい」「もっと知りたい」とし、「もっとやりたい」「もっと知りたい」という思いを育むための援助の工夫を図ること、幼児期の学びを小学校へ伝える工夫をすること、を行ってきました。

運動会に向けた活動で例を挙げますと、年少組は、「運動会のために練習をする」というスタンスではなく、日常の中でリズムやかけっこに親しみ、教師と一緒に「もっとやりたい」というときを逃さず気持ちを受け止め、何度も繰り返し楽しむようにしました。そしてこの楽しい様子を保護者に見てもらおうと期待をもたせ、当日に向かいました。年中組は、ちょっとこわい、難しいと感じたことにも自分のペースで取組む時間を十分にとりました。また、「友達と一緒に楽しく、友達と一緒に思いを共有したい」と思うようになる時期であり、友達と一緒に取組み、喜び合う機会をつくりました。年長組は、協同性を発揮し始める時期、自分に任された役割に対して責任をもって果たす喜びに支えられ活動できるようにしました。また、個人としても走ることや踊ることについて「よりよく」を追求しようとし、友達と見合い(タブレットで録画し見合う時間もありました)友達からのアドバイスや刺激を受け高めていく経験ができるようにしました。子供たち一人ひとりの運動会への思い、保護者の皆様のご協力、発達に応じた「もっとやりたい」「もっと知りたい」に向けた教師の援助が重なったことで、子供たちは一回りも二回りも大きく成長することができました。

運動会後も、異年齢が入り交じり、今まで憧れの眼差しで見ていた年長組のリズムを教わって踊ったりリレーをやってみたり、リズムや玉入れを一緒に楽しんだりして、運動会の余韻を楽しみながら「もっとやりたい」「もっと知りたい」を高めています。

楽しいこといっぱい！子どもたちの園生活

< 3 歳もも組 >

ドキドキ！ワクワク！初めての運動会楽しかったね！

もも組の部屋や遊戯室で「ウサギさんの踊りもう一回」「『ハロー、ニイハオ』がやりたいな」とリズム遊びを楽しんだり、園庭でかけっこや「オオカミさん今何時？」の鬼ごっこを繰り返し遊んだりして、体を動かして遊ぶことが楽しくなりました。そして迎えた運動会では、ゴールまで一人で頑張って走ったり、カラフルなウサギになって踊ったりと、もも組全員で笑顔いっぱいの運動会となりました。運動会後の余韻を味わって他学年と一緒に体操やリズムなどを踊る中で、年中・年長児への親しみや憧れの気持ちを感じてきています。

運動会を通して、友達や教師と一緒に遊ぶことの楽しさをたくさん知った、もも組の子供たち。11 月は、バスでの遠足や焼き芋会など楽しい行事が待っています。「みんなと一緒に楽しかったね」という経験を一つひとつ積み重ねていくことができるように取り組んでいきます。

< 4 歳たんぼ組 >

運動会は大成功！憧れの気持ちもいっぱい！

運動会当日、雨がどうなるかと心配でしたが、無事に晴れて、みんなで思い切り体を動かして楽しむことができ本当によかったです。子供たちは、「運動会楽しかったね」「またやりたいね」と顔を見合わせて話す姿があり、満足感を味わうことができたと感じています。運動会の取組では、声を掛け合って整列したり、教え合ったりしている姿や、友達のことを応援したり励ましたりしている姿が見られ、子供たちの心の成長と絆を感じる出来事がありました。運動会後には、好きな遊びの中で憧れの年長児のリズムを教わりながら踊っていたり、リレーに混ぜてもらったりして、意欲的な姿が見られています。また、年少児には自分たちの踊りを教える姿が見られ、異年齢の交流も増えています。

運動会で友達と一緒に取り組む楽しさを感じた子供たちは、より一層いろいろな友達と思いや考えを言葉や動きで伝え合いながら遊ぶ姿が出てきています。教師や友達に気持ちを受け止めてもらう喜びを感じ、つながりが深まるように援助していきます。

< 5 歳ばら組 >

みんなの思いがひとつになった素敵な運動会だったね！

運動会に向けての取り組みでは、友達と動きを合わせようと動画を見て自分の動きを確認する姿、できるようになりたいと強く思い苦手なことにも繰り返し挑戦する姿、友達の取り組みを見て励ましたり、やり遂げたことを喜び合ったりする姿など、友達とのつながりを感じながら、自分なりの目当てをもって活動を進める様子が見られました。当日は、子供たちがこれまでみんなで紡いできた思いや一人ひとりの力が存分に発揮され、学級の一体感や達成感につながりました。閉会式での晴れ晴れとした子供たちの表情は今でも忘れられません！運動会をとおして培われた自信や挑戦する意欲、友達との絆をこれからの学級活動へとつなげ、協同性を高めていきます。

11 月には焼き芋会やアートの日、劇遊びに向けての表現活動などがあります。五感をとおして秋の自然をたっぷりと味わうとともに、年長ならではの芸術体験の場や友達と考えを出し合い、一つのを作り上げる機会を大切に、思いや考えが実現できるよう援助していきます。